

2018年4月吉日

会員各位

資産評価政策学会
学会賞選考委員会
委員長 岩崎政明
学術委員会
委員長 浅見泰司

2018年度 資産評価政策学会「業績賞」募集のお知らせ

拝啓 時下ますますご清祥の段、お慶び申し上げます。

さて、資産評価政策学会では2009年度より学会賞を創設し、その一部門として「業績賞」を設けました。この「業績賞」は、不動産、知的財産などを対象とした資産評価および良好な資産形成に関連する実践的な活動が、資産評価政策学の発展に著しい貢献をなしたものと認められる場合に授与するものです。今年度も同賞の募集を行いたく、お知らせ申し上げます。

つきましては、下記要領に基づき奮ってご応募ください。地域・事業規模の大小にかかわらず多数の応募をお待ちしております。

敬具

記

1. 応募資格

自薦他薦を問わず、また、本学会の会員資格の有無を問いません。ただし非会員の応募の場合は、本学会員1名の紹介者を指名してください。

2. 締め切り

応募用紙および業績概要書の提出期限：~~2018年8月31日（金）事務局必着~~

***提出期限を2018年9月21日（金）まで延長いたします。**

- (1) 応募用紙は、学会ホームページ (<http://japap.org/>) からダウンロードするか事務局にお申し出ください。
- (2) 業績概要書は文書や図面等を A4 用紙片面 6 枚以内にレイアウトしたものとします。

3. 選考

選考は、学会内外の関連分野の有識者からなる業績賞選考委員会で行います。選考の過程でさらに詳細な資料の提出、現地調査への協力を求めることがあります。

4. 表彰と公開

- (1) 表彰は、研究大会（2018年11月23日～25日開催予定、於：明海大学（千葉県浦安市））において行われます。
- (2) 受賞業績の公開は、研究大会、学会誌等を通じて行われます。

以上

申込み・問合せ先

資産評価政策学会 事務局

電話：03-5211-5250 E-mail: japap00@gmail.com

受付番号	年 月 日受付
------	---------

上欄には記入しないで下さい。

2018 年度資産評価政策学会「業績賞」応募用紙

提出期限： 2018 年 9 月 21 日（金）

提出先： 資産評価政策学会 事務局

E-mail: japap00@gmail.com

①業績の名称	
②受賞候補者 ・連名も可 ・連名の場合は代表者1名を記入し、全員を記した別紙を添付	団体名 住所 TEL
③申請者 ・受賞候補者と異なる場合に記入	氏名または団体名 住所 TEL
④担当者 ・この業績についての問い合わせ・連絡先を記入	団体名 役職 ふりがな 氏名 住所 TEL FAX E-mail
⑤紹介者 ・本学会員であること ・受賞候補者が会員の場合は不要	ふりがな 氏名 住所 TEL
⑥付属資料 ・原則として返却しません	

--	--

<p>⑦業績の概要 ・200字程度</p>	
<p>⑧業績の優れている点 ・200字程度</p>	

付：業績概要書（書式自由）作成上の注意

業績概要書は、応募業績のコンセプト、内容を客観的に示す記述、完成・進歩の程度、社会的意義などを含め、以上の応募用紙とは別にA4用紙6枚以内（Word ファイル 6ページ以内）で自由に作成して下さい。わかりやすく見やすい表現やレイアウトが求められます。

業績概要書作成のガイド

1. 表現方法について

A4用紙片面6枚以内に自由に表現して下さい。わかりやすく見やすいことが重要だという点では、PR用のパンフレット制作と同様です。文書は簡潔で要領を得たものとし、図表、図面、地図、イメージスケッチ、写真などヴィジュアルな表現方法の採用や、全体レイアウトなどにも工夫が望まれます。

2. 概要書の構成について

以下に示すのは、概要書の構成の例です。業績候補の種類にふさわしい構成で、概要書をまとめて下さい。

1. 業績候補の内容

(1) 社会的背景

*背景となる社会的需要や課題などを中心に、現在および将来の地域や社会についての認識や想定。

(2) コンセプト・位置付け

*プロジェクトのコンセプト、制度の位置付け・性質など。

(3) 内容

*プロジェクトの概要、制度のしくみ、調査内容など。

*プロジェクトの諸元、代表的な適用事例の概要、調査範囲など。

*プロジェクトの期間・完成(見込み)年など。

(4) 特徴

*内容の特徴。

*新規性・特異性(差別化は何か)の特徴。

*実現・実施過程の特徴。

*維持・運営上の特徴。

2. 業績候補の評価

(1) 目的の達成度

*プロジェクトや制度の実現・実施により目的がどの程度達成されたか、調査結果の有効利用例など。

*現状、利用度、市場での評価や実績など客観的な指標。

(2) 事業の採算性(成果または見通し)

(3) 副次的波及的な影響・効果

*地域社会へのプラスマイナスの波及効果とその対応。

(4) 業績賞候補として優れている点の要約

(5) 社会的評価

*社会貢献や意義(周辺環境に優良な影響を与えた、公共団体の税収増につながったなど)